

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

# 武蔵野市議会だより

No.357

発行日 平成27年(2015年)4月30日

発行 武蔵野市議会  
東京都武蔵野市緑町2-2-28  
TEL 0422-60-1883(直)  
FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 代表質問・施政方針 ..... 2-3面
- 予算特別委員会審査概要 ..... 4-5面
- 一般質問 ..... 6-7面
- 特別委員会最終報告 ..... 7面
- 議案等審議結果一覧 ..... 8面
- 政府等への意見書、決議 ..... 8面
- 陳情審議結果 ..... 8面

## 第一回市議会臨時会・第一回市議会定例会

一月三十日、会期一日で開かれた第一回市議会臨時会では、平成二十六年度武蔵野市一般会計補正予算(第六回)が可決されました。  
また、第一回定例会は二月二十四日から三月二十六日まで開催され、市長による施政方針演説と、これに対する七人の各会派代表質問、および十一人の議員による一般質問が行われました。議案では、平成二十七年武蔵野市一般会計予算をはじめ、五十四件の市長提出議案が可決され、川内原発を初めとする原発の再稼働を行わず廃炉とし、原発ゼロ政策への転換を求める意見書など五件の議員提出議案が可決されました。

## 平成二十七年年度予算を可決

一人ひとりを大切に 平和をつなぎ 確かな未来を拓く予算  
一般会計は六百二十八億円

一般会計六百二十八億七千万円を中心とした平成二十七年年度の各会計予算案は、三月二日の本会議で、同日設置された十二名の委員から成る予算特別委員会に付託されました。  
同委員会では十三日に正副委員長を

互選した後、十六日から五日間にわたって各予算案の審査が行われました。  
二十六日の本会議では、深沢達也予算特別委員長より委員会における審査概要の報告がありました。その後、報告に対する質疑・討論が行われ、個別採決

の結果、平成二十七年年度一般会計、下水道事業会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療会計・介護保険事業会計の四特別会計、および水道事業会計(企業会計)の各予算は、全会一致で可決されました。

これによって市政運営の大枠が確定し、各種事業が実施されることとなります(三面に施政方針、二・三面に代表質問、四・五面に予算特別委員会審査概要、五面に予算に対する討論を掲載)。

## 介護保険料を改定

三月九日の厚生委員会の審査を経て、十三日の本会議において、「武蔵野市介護保険条例の一部を改正する条例」が賛成多数で可決されました。

本条例は、平成二十七年から十九年度までの第六期介護保険事業計画期間の新たな保険料等を定めるものです。基準額は、月額五千六百円から五千九百六十円になります。同期間には、在宅の要介護高齢者を支える定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所と夜間対応型訪問介護事業所が新たに一事業所ずつ、特別養護老人ホームが新たに一施設整備されます。これらの給付見込みから必要な保険料額を算出すると、基準月額額は六千六百円となりますが、介護給付費等準備基金の取り崩し等により、値上げ幅を抑制しています。

## 教育長の選任に同意

三月二十六日の本会議で、教育長の選任について審議が行われ、全会一致で同意されました。本議案は、新たな教育委員会制度への移行に伴い、従来の「教育委員長」と「教育長」を一体化した、「新教育長」として任命を行うためのものです。任期は四月一日からの三年間です。

■教育長・宮崎活志氏

平成二十四年十一月から教育長。六十二歳。



## 「お花見頃の競技場」

撮影：長谷川 裕(武蔵野市)  
場所：武蔵野陸上競技場(2012.4.10)

毎年お花見の季節になると、一般開放されるグラウンドの周りに見事に咲く桜を見に行きます。スポーツに親しむ若人たち、芝生で楽しく遊ぶ子どもらなどの情景に出会うのを楽しみにしています。

## Photo Gallery

フォトギャラリー



### 1面写真募集要領(次回の締め切り5月15日)

- 内 容：武蔵野市内(隣接する地域を含む)で応募者自身が撮影した、未発表のオリジナル作品(カラー)に限ります(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください)。
- 規 格：①紙焼きの場合 ・サイズ 六つ切り  
②デジタルデータの場合  
・ファイル形式 J P E G形式  
・画像サイズ 1600×1200ピクセル以上  
・ファイルサイズ 2MB程度まで(2MB以上になるとメールが受信できない場合があります)
- 審 査：議会広報委員会が審査します。
- 発 表：採用された作品は、6月15日発行の市議会だよりに掲載します(賞品等はありませんのでご了承ください)。
- 著 作 権：作品の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、市議会だより掲載後6か月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- 期 限：5月15日(金)当日消印有効
- 応募方法：撮影者の住所・氏名・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記のうえ、下記まで先までご応募ください(作品は返却いたしません。なお、今回採用されなかった場合、次号以降の市議会だよりの1面写真に使用させていただく場合があります)。
- あて先：〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28  
武蔵野市議会事務局 市議会だより担当  
デジタルデータの場合はメールで  
ofc-gikai@city.musashino.lg.jp まで  
(CD-R等、各種メディアでの送付はご遠慮ください)
- 問い合わせ：Tel 0422-60-1883

# 施政方針を質す

## 代表質問

「施政方針」は武蔵野市役所のホームページでご覧いただけます。また、市役所の市政資料コーナー、各図書館、武蔵野プレイスで閲覧できます。

2月26日、市長の施政方針に対して、7名の各会派代表者による代表質問が行われました。以下はその要旨です。

民主生活者ネット・蔵野恵美子議員

### 公会堂・児童館等、早期の青写真提示と全市的な議論を



来年度中に定員増が必要では。特に課題であるゼロから二歳児を対象とする小規模保育事業所の整備を行うとともに、三歳児の定員拡充も図りながら、来年度の待機児解消を目指していきたい。

問 介護保険制度の改正により、要介護一、二の方の特別養護老人ホームへの入所が難しくなるが、市の対応を伺う。  
答 入所基準を明確化し、公平性を担保したうえで必要に応じ入所できるように進めたい。  
問 待機児童ゼロに向けたスケジュールを伺う。また三歳児枠の不足が見込まれるが、

市議会公明党・田辺あき子議員

### 平和の基本は人権の尊重 人権政策の確かな推進を



問 文化事業等の基本方針をきちんと位置づけるべきだが、文化芸術推進基本計画ならびに条例制定の必要性は。  
答 総合的にどういう文化を進めるかのビジョンが明確でないため、体系的に整理し、個別計画等の策定も考えたい。  
問 障害児の保育園等への受け入れ体制の強化を求めるが、見解を伺う。

問 人権尊重は平和の基本と考えるが、二〇二〇年東京オリンピック開催で世界の人々が来日することを機に、人権政策を明確に進めるべきでは。  
答 人権尊重の考え方はすべての施策に共通するものと考ええる。相談窓口等は設置しているが、市民にわかりづらいため今後研究したい。

問 来年度で市内全小・中学校への太陽光発電パネルの設置が完了するが、今後はどのような取り組みを行うのか。

答 自立運転が可能な設備への更新や、発電した電力の使用量や効果等を検証したい。  
問 公会堂の改築については、公共施設の再配置を検討する中で、全市を挙げて議論すべきと考えるが、今後の方針は。  
答 現施設は多くの方に利用されており、多目的ホールを中心とした機能を継承すべきと考えている。吉祥寺駅南口のまちづくりの一環として全市的な議論を深めていきたい。

問 ペット同行避難訓練等、ペット施策の位置づけの必要性について、見解を伺う。  
答 ペットをどのようにとらえ、施策や予算組みを行っていくか、議論が必要と考える。

問 日中韓等の三国間交流を見据えて都市交流を促進し、自治体間の協力体制の構築が求められるが、計画はあるか。

答 すでに調整計画の議論の中で意見をいただいているが、今後も議論を深めていきたい。  
問 雨水利活用条例の制定や公共施設丸ごとエネルギーの見える化等、一年間の環境政策強化に対する成果を伺う。

問 雨水の地下浸透が進んだことや、水の学校を通して水循環の重要性の理解が進んだことである。エネルギーの見える化に関しては、市民に伝わりやすい方法を研究したい。

市民の党・山本あつし議員

### 待機児童解消のため、積極的な予算編成を



問 二十七年予算の基金残高の見込みは、第五期長期計画の財政計画の見通しと比較して、約百五十億円積み増されていくため、見通しが大きく外れていくものと考ええる。財政計画の見通しの仕方を今後見直すべきではないか。  
答 長期計画の財政見通しは従来剰余金を想定せずに行ってきたが、過去数年間剰余金が生じている状況を踏まえ、今後は基金の積み立てを想定した財政見通しを検討したい。

問 待機児童解消について、二十七年予算では最大三施設の小規模保育施設の誘致が見込まれているが、増え続ける待機児童数を見込んだ予算編成を行い、積極的に待機児解消を図るべきではないか。  
答 今後の拡充については待機児童数の状況を踏まえ、補正予算等で対応していきたい。  
問 団塊の世代が七十五歳以上となる平成三十五年に向けて、特養の増設等が困難に

市議会市民クラブ・土屋美恵子議員

### 健全な市政運営を進めるにあたり、市長の姿勢は



問 経常経費の削減や、事務事業・補助金の見直しは、市民等と折り合いをつけることも課題と考えるが、見解は。  
答 今後、限られた予算の中で新たな事業を進めるためには、今まで実施してきた事業も見直し、経常経費の削減を毎年行う必要がある。

問 経常経費の削減や、事務事業・補助金の見直しは、市民等と折り合いをつけることも課題と考えるが、見解は。  
答 今後、限られた予算の中で新たな事業を進めるためには、今まで実施してきた事業も見直し、経常経費の削減を毎年行う必要がある。

問 三鷹駅北口街づくりビジョン(仮称)等の新たな計画の策定にあたっては、一から市民参加が必要ではないか。

答 市民参加については、まず市が課題等の前提条件を整理した上で、さまざまな市民の参加をいただき、まちづくりを進めていきたい。  
問 農業基本計画の改定について、市民にとっての農業という視点を拡大するため、市民委員の数を増やすべきではないか。  
答 市民の声が反映できるような仕組みを考えていきたい。

問 シルバー人材センター事業に、共活動の視点をいれるべきと考えるが、いかがか。  
答 地域との関連を重視した仕事や、高齢者ならではの経験を生かせる業務に取り組んでいただきたいと考えている。  
問 本市では保育園待機児が増加している一方で、幼児の七割が幼稚園を利用している現状がある。保育園関連施設をどの程度まで確保するのか。  
答 当初予算で予定している施設もあるが、四月以降の待機児の状況を見ながら、必要な保育園の拡充を図りたい。

問 健全な市政運営を進めるにあたり、どのような姿勢で臨んでいるか伺う。  
答 持続可能な都市づくりに向け、無駄のないよう、事業の見直しと新たな政策提案を進めていきたい。

日本共産党武蔵野市議団 ●橋本 しげき 議員

### 地方創生という名の自治体再編についての見解は



**問** 閣議決定の具体化である海外で戦争するための法改正と来年の憲法改正の動きに反対する運動を大きく広げていく必要があると考えるが、市長の見解を伺う。

**答** 平和政策は大きな課題であり、大変スピードを上げて決められていると認識している。不戦を憲法で誓い七十年

**問** 地方の問題を国が枠組みを決めるのは時代に合わない。補助金を出すにしても、地方の創造的な取り組みに委ねるべきではないかと考える。

**答** 地方の問題を国が枠組みを決めるのは時代に合わない。補助金を出すにしても、地方の創造的な取り組みに委ねるべきではないかと考える。

**問** 戦争が無かったことは誇るべきであり、平和の大切さを子どもたちや市民に伝えたい。

**問** 市内の中小企業の経済状況について、今後前向きな変化が見られるか認識を伺う。

**答** 中小企業には景気回復が見えない。消費税の増税もあり、低所得者の負担も多く、個人消費の将来への鈍化の影響が大きいと考える。

**問** 地方創生の名で自治体の再編が進められようとしている。求められているのは自治機能の再生であると考え、国の地方創生についての市長の見解を伺う。

**問** 特別養護老人ホームの入所について、要介護一・二であつても入所できるルールはあるのか。

**答** 要介護一・二でも、認知症の具合など、緊急時に応じて点検化をして、入所対象となるような指針を作成したいと考えている。

むさしの無所属クラブ ●小美濃 安弘 議員

### 市内病院のベッド数を確保せよ



**問** 吉祥寺東町の松井外科病院は入院や救急医療が休止状態になっている。東京都は現状でも当該地域の病床数が過剰との考えだ。この病院の九十一床はどうなってしまうのか。

**答** 直接院長に病院の維持や、病院の資源の活用をお願いしたが、現状として病床の維持はかなり難しい状況である。

**問** 吉祥寺南病院は、法規制等により病院建築計画が中断している。近い将来、建て替えるの必要に迫られており、病床数を確保されなければ、市民に影響があるのではないかと懸念している。

**答** 現在、計画が中断しているが、さまざまな敷地の条件も踏まえた病院側の計画変更もあり、今後も引き続き注視していきたい。

**問** 武蔵野ふるさと歴史館は、当面土曜日も開館していくとの答弁があったが、開設当初から現在まで土曜日は休館のままである。理由を伺う。

**答** 現在教育委員会で具体的な

**問** 市民文化会館改修工事は、防音工事を行わないのであれば、劣化改修等の最小限にとどめ支出を三十億円程度に抑えるべきと考えるがいかがか。

**答** 運用によって今までのように使用できればいいと考えており、可能な範囲で防音については工夫していきたい。

**問** 桜堤児童館について、全議員協議会で調整計画の策定委員からは議論していくとの回答があった一方で、施設方針には桜堤児童館は転用するとの記載がある。策定委員会の議論を待たずに転用するのか。

**答** 今の施設をより充実させる考えから転用という言葉を使っているが、調整計画の策定委員会の議論も注視したい。

自由民主クラブ ●近藤 和義 議員

### 現クリーンセンターが役目を終える際の解体方法を明示すべき



**問** 主管者会議で提案された議案が、本会議で上程されないことがある。あまり好ましくないと思うが、見解を伺う。

**答** 主管者会議の資料はあく

**問** 目標を掲げているので、この計画を前に進めさせていきたい。

**答** 従来はJRの施設と一体化し合築を予定していたが、JRの事業の遅れなどもあり、現有地で単独で建て替えるか、新たな場所を確保すべきか早急に判断したいと考えている。

**問** まで議会へ参考に提供しているものである。最終的には市長の判断で決定している。

**問** 障害者施設については施設方針に大きく踏み込んだ記述がない。障害者のための大規模なグループホームや障害者向け施設の検討を打ち出すべきではないか。

**答** 障害者福祉計画の見直しを行っており、グループホームの確保など具体的な数値はなぜか。

**問** 設置の可能性を調査し、コミセンの意向も確認しながら進めていきたい。

**問** 武蔵境市政センターは以前より中央線の連続立体交差事業が完成したら高架下に移転すると言われてきたが、施設方針に記載がないのはなぜか。

**答** 現在のクリーンセンターは役目を終るときは炉や機械部分の解体を行うことになるが、炉については焼却残渣を出した後の危険度を調査し、現段階から予算の検討をすべきと考えるが見解を。

**問** 解体工事計画を現在策定中であり、来年度以降、具体的な解体工事の発注準備のための予算を計上する予定だ。

### 市長の施政方針

## 一人ひとりを大切に 平和をつなぎ 確かな未来を拓く予算



邑上守正市長

【市長が2月24日の本会議で行った「施政方針」演説の要旨です】

#### 市政運営の基本的な考え

- 1 平和な未来へ**
  - 戦争の悲惨さと平和の大切さを発信し、市民とともに、核も戦争もない平和な未来を子どもたちにつなげていく。
- 2 経験を教訓にさらなる減災のまちづくり**
  - 東日本大震災等を教訓に、自助・共助の取り組みを推進し、地域の防災力を高めるとともに、大雨等の自然災害に対する備えを強化し、災害に強い安全なまちづくりを進める。
- 3 循環型都市づくりの推進**
  - 水の循環と緑のネットワークを拡充し、環境共生都市づくりを推進する。
  - 新武蔵野クリーンセンター（仮称）の平成29年4月の稼働を目指し、豊かな環境創造の拠点として整備する。
- 4 すべての子どもが健やかに**
  - 保育の質を確保しつつ待機児解消に努め、地域社会との連携を図りながら、総合的な子育て支援、学校教育の充実などを着実に進める。
- 5 一人ひとりを大切に福祉**
  - 誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、「地域リハビリテーション」の理念に基づき、福祉の充実を進める。
- 6 武蔵野市にふさわしいコミュニティづくりと自治の前進**
  - 市民自治の前進に向け、市民との協働によるまちづくりを進める。
- 7 地方創生と魅力あるまちづくり**
  - 本市の特性を生かしたまちづくりで、魅力ある自治体運営を目指す。
- 8 健全な市政運営**
  - 最上位計画である長期計画に基づく施策を推進し、誰もが安心して暮らし続けられるまちを目指す。

#### 主要な施策

- (I) 健康・福祉**

4月施行の生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者に早期自立の支援を行う。地域の互助の仕組みを推進する「地域支え合いポイント制度（仮称）」を検討する。訪問看護事業者が利用者の情報を居宅介護支援事業所へ的確に提供する連携の仕組みを構築する。
- (II) 子ども・教育**

待機児童の早期解消に向け、0歳から2歳児を対象とした小規模保育事業所を誘致する。認証保育所などに通う児童保護者へ助成金を拡充する。小学校6校にICT機器を、中学校2校にタブレットパソコンを導入する。セカンドスクール20周年事業として、小中学校合同の交流報告会を開催する。
- (III) 文化・市民生活**

戦争遺跡である中島飛行機武蔵製作所に関する資料の調査を行う。災害時要援護者対策事業を見直し、避難支援体制を構築する。小学校の通学路に防犯カメラを設置し、子どもたちの安全確保を充実する。
- (IV) 緑・環境**

新武蔵野クリーンセンター（仮称）の地上部分の工事を、安全かつ着実に進める。環境啓発施設（エコプラザ（仮称））の整備に向けた検討を進める。第四期環境基本計画を、環境市民会議での検討を踏まえ策定する。
- (V) 都市基盤**

石神井川排水区雨水幹線整備、区部流入増補管きよ整備工事を行う。京王井の頭線吉祥寺駅ホームドア整備の事業支援を行う。三鷹駅北口街づくりビジョン（仮称）を策定する。
- (VI) 行・財政**

社会保障・番号制度（マイナンバー制度）の開始に対応して、個人番号カードを発行する。公共施設等総合管理計画を策定する。第五期長期計画・調整計画の策定を進める。

# 概要

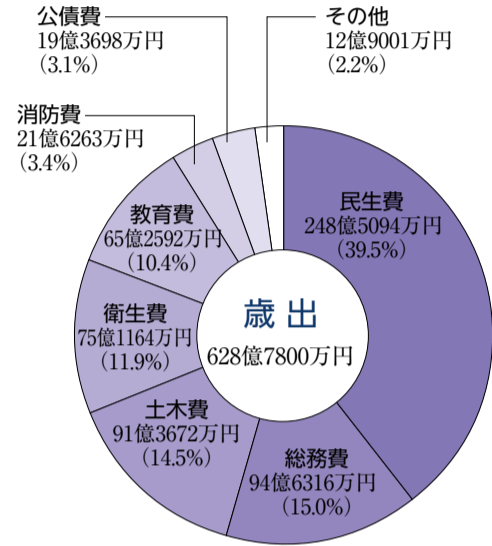
一般会計予算は、628億7,800万円で、前年度比26億1,800万円(4.3%)の増額となりました。歳入の根幹をなす市税収入は、市たばこ税の減が見込まれるものの、個人市民税、法人市民税、固定資産税、都市計画税、事業所税などの増のため、全体では前年度比8億922万円の増を見込んでいます。

今年度予算は、「一人ひとりを大切に 平和をつなぎ 確かな未来を拓く予算」と位置づけられ、4年目となる第五期長期計画の各分野に掲げられた施策を着実に推進するとともに、新たな課題にも対応しながら持続可能な市政運営を行っていくため、限られた財源を重点的かつ効率的に配分することを基本に編成されています。また、効率的な行政経営を目指し、健全な財政運営を維持するため、事務事業および補助金の見直しが継続的に実施されたほか、経常経費では、前年度予算額を上限とする枠配分方式が引き続き実施されるなど、内部努力による経費の節減が行われています。

以下は予算特別委員会の審査概要です。

## 歳出予算の目的別内訳

市民1人当たり 442,373円  
1世帯当たり 850,703円



主要な事業	(単位:千円)
■一般会計	
◇総務費	
・ペーパーレス会議システムの導入	3,748
・国勢調査	86,200
・職員採用試験	8,596
・社会保障・税番号制度対応	192,435
・「市民活動推進委員会(仮称)」の設置	120
・男女共同参画施策事業	5,149
・期日前投票(西部開設場所の変更)	548
◇民生費	
・災害時要援護者対策事業	6,055
・地域リハビリテーション推進事業	5,221
・生活困窮者自立支援事業	37,463
・看護と介護の連携強化事業	8,776
・相談支援専門員ガイドライン作成	3,780
・障がいのある子どもへの支援体制の充実	166,351
・障がいの者の外出支援	43,899
・子育て支援事業	14,315
・保育の質向上の取組み	4,829
・保育コンシェルジュの増員	3,402
・認可外保育施設入所児童保育助成金の充実	153,275
・病児・病後児保育の拡充	19,215
・小規模保育施設の誘致(公募型)	67,500
・一時保育事業の拡充	7,077
◇衛生費	
・環境啓発施設の整備検討	2,600
・廃熱エネルギー供給最適化調査検討事業	3,240
・休日診療の充実	81,003
・がん検診等事業	149,930
◇農業費	
・武蔵野市農業振興基本計画の策定	1,756
◇商工費	
・中小規模企業者等への補助事業	94,371
・観光振興事業	62,986
◇土木費	
・三鷹駅北口街づくりビジョン(仮称)の策定	1,900
・分譲マンション再生支援事業	780
・第五期緑化・環境市民委員会の設置	2,000
・緑の保全サポート制度(仮称)	1,500
◇消防費	
・消防団装備品の充実	5,487
・飲料水兼用耐震性貯水槽の設置	96,527
・避難所用備蓄資機材の整備	5,271
・災害時における燃料備蓄の強化	9,334
・災害時における飲料水の確保	13,179
◇教育費	
・学校施設整備基本計画(仮称)の策定	7,840
・教育史統編編さん事業	8,562
・体力向上・健康づくりの取組の充実	1,050
・小学校外国語活動指導助手の配置	10,164
・小学校ICT機器の拡充	27,251
・中学校教育用タブレットパソコン導入(無線LAN構築を含む)	18,492
・セカンドスクール・プレセカンドスクール	143,109
・教育推進室の運営	5,723
・通学路防犯設備整備事業	19,378
・個別支援教室の拡充	39,956
・子ども文化・スポーツ・体験活動事業	4,410
・中島飛行機武蔵製作所関連資料調査	1,966
■介護保険事業会計	
・ケアリンピック武蔵野(仮称)の開催	2,000
・介護保険制度改正に伴う新たな地域支援事業への対応	236,251

### 総括

#### 市税増収等を踏まえ 積極的な施策の展開を

市税や地方消費税交付金の増収を踏まえ、待機児童対策等の子ども施策に充てる財源的余裕がまだあると考えるが、もっ

と積極的な対策を行うべきでは。四月の待機児童数確定後、補正予算での対応を予定しており、当初予算で具体的な額の検討は難しい。来年度四月の待機児童解消に向けて取り組みたい。

東京五輪開催に向け、国をあげてのイベントに積極的に加わることで、本市のアピールにもつながると考えるが見解は練習会場の誘致やホストシ

### 歳入

#### 武蔵野市をPRして 歳入を増やすには

市はふるさと納税のPRに消極的に思えるが、考えを伺う。

ホームページを新たに作成し、ふるさと寄付金としてPRを行うとともに、手続きの簡略化に取り組んでいるところだ。

平成二十七年予算で個人市民税の増を見込んでいるが、その根拠を伺う。

昨年実施した将来人口推計の伸び率と、給与所得者の給与の伸び率を勘案し計上した。

法人市民税は、平成二十六年では当初予算から補正予算で増えたが、平成二十七年ではどのように見込んでいるのか。

平成二十六年の税制改正の影響で減を見込んでいたが、景気回復の傾向もあり、プラスとマイナスの要因がある。

### 総務費

#### 社会保障・税番号制度 導入のメリットは

社会保障・税番号制度の導入にあたり、市民にはどのようなメリットがあるのか。

各種申請手続きの際に添付書類が基本的には不要となることや、インターネットで自身の情報が見られること等である。

ミッドナイトパトロールなど二十四時間体制でのパトロール実施を評価するが、今後の安全対策についての展開を伺う。

警察と連携を密にするとともに、商店街や市内の大学生によるパトロール隊も発足し、多様な世代に参加いただく予定だ。

市が所有する未利用地・低利用地はその保有目的と今後の活用をどう考えているのか。

将来、福祉関係で民間との共同の事業等で市有地の活用も考えられ、一定の土地は保有していく必要があると考えている。

中央市政センターの外部委託は当分見送るとのことだが、その後はどう考えているのか。

調整計画の討議要綱のとおり、公共的施設は、周辺自治体との相互利用について、全体的な視点で検討を進めていく。

### 民生費

#### 認可保育園の増設による待機児童対策を

待機児童対策について、認可保育園の増設による抜本対策を推進すべきではないか。

この数年間は緊急対策として認可保育所を中心に増やしてきたが、認可保育園についても今後拡充の方向で検討したい。

新規事業の生活困窮者自立支援事業は生活保護受給の抑制につながる懸念があるが見解は。

自立支援事業の申請後でも、生活保護の要件に該当すれば、受給の対象となる。

福祉タクシーの利用助成について、精神障害者保健福祉手帳一級の所持者を新たに対象とするとのことだが、積極的に広報すべきではないか。

障害者福祉課が発行する広報誌等での周知のほか、対象者には個別の通知を行う予定だ。

共助による子育てひろば事業補助金が新設されるが、実施場所は、コミセンだけではなく、幅広く設定すべきではないか。

共助の仕組みづくりを進めるためにも、今後は地域の身近な場所での実施を検討したい。

### 衛生費

#### 胃がんハイリスク検査の位置づけは

胃がんハイリスク検査は、血液検査で胃がんのリスクを確認できることだが、この検査の位置づけについて伺う。

まず血液検査を行い、検査結果に基づき、バリウム検査や内視鏡での精密検査につなげていくものである。

初期救急、二次救急、三次救急の段階に応じて診療所と病院の役割分担を整理したとのことだが、実施の概要を伺う。

初期救急で軽微なけがなどは診療所の診察を基本とし、午後五時から十時までの準夜帯は病院で初期救急に対応いただく。

全小中学校に太陽光パネルの設置が完了するが、単にPRするだけでなく実効性を持って活用することが大切だが見解を。

昼間の充電を夜活用する蓄電池の設置が想定されるが、費用や場所など全体的視点から検討する必要がある。

### 土木費

#### 吉祥寺駅南口の用地 買収と公会堂の関係は

吉祥寺南口駅前広場の用地買収を進めるために、公会堂用地を代替地として活用するとのことだが、公会堂と買収の問題は切り離して考えるべきでは。

公会堂用地は、まちづくりの視点も含めてどのように活用していくかを総合的に考えており、決して買収を進めるための代替地としては考えていない。

三鷹駅北口街づくりビジョン(仮称)の策定に向け、地域住民と意見交換が必要だが、どのようなプロセスを進めるのか。

庁内で議論した後、まちづくり委員会を通じて専門家等と意見交換をしながらまとめていく中で、事業者や地域住民等にヒアリングも行う予定である。

吉祥寺南病院の建て替え予定地には、用途地域による規制など多くの課題があるが、それを解決する手段はあるのか。

用途地域の関係上、現状は一定規模の病院が建てられない。緩和型地区計画制度の活用で制約を緩和できるが、周辺に与える影響への配慮等が必要となる。

### 商工費

#### 魅力的で活気のある まちづくりを

高齢者を狙った詐欺が絶えない。詐欺を防ぐ電話システム等があると思うが現状を伺う。

電話システムの貸し出しを周知しているが、見込んだ台数に至っていない。引き続き啓発をしていきたい。

商店街への企画提案型補助金の、今後の方向性を伺う。

新たな取り組みに対して、商連の審査を受けて補助金を出してきたが、今後は企画提案のあり方についても検討していく。

中央線沿線の商業圏の競争について市としての考えを伺う。

さまざまなまちづくりの相乗効果で、沿線が魅力的な街になることを期待している。



予算特別委員会の審査風景

# 審査 予算特別委員会

## 消防費

### 武蔵野中央公園の貯水槽 市負担で設置の理由は



深沢達也 予算特別委員長

### 審査した特別委員

平成27年度予算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

- ◎深沢 達也 ○土屋美恵子
- 田辺あき子 前田 秀樹
- 高野恒一郎 川名ゆうじ
- 小美濃安弘 齊藤シンイチ
- 山本あつし 桑津昇太郎
- 橋本しげき しばみのる

◎印 委員長 ○印 副委員長

**問** 都立武蔵野中央公園の拡張地域に、飲料水兼用耐震性貯水槽を新たに設置することだが、市の負担で実施する理由は、同公園内の未利用地について、都の負担による防災公園の設置の交渉をしていたため、本市も一定の努力をすることで貯水槽の設置に至ったものだ。

**答** ガソリンスタンドを利用した、災害時の燃料備蓄について、災害時に市が優先利用できる体制が必要と考えるが、見解は、ガソリンスタンドを運営する特定の事業者と購入契約を新たに締結予定であり、災害時に市が必要とする量を常時保管し

## 教育費

### 中島飛行機武蔵製作所 関連資料の活用方法は

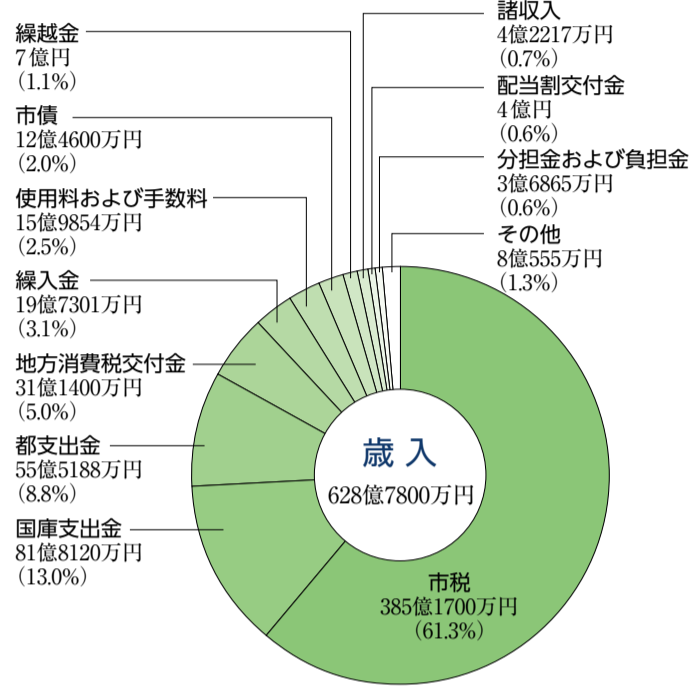
でもらうため、優先利用できる体制は確保されるものと考えている。

**問** 中学校教育にタブレットパソコンを導入する効果は、思考を画面に「見える化」することで、子どもたち同士の共同学習や議論が活発になると考えている。

**答** アメリカ公文書館に保存されている、中島飛行機武蔵製作所関連資料の活用方法は、市で活用できる資料があれば、平和事業や、ふるさと歴史館での展示で公開したい。

**問** ふるさと歴史館事業で新設する、文化財収蔵庫の概要は、

## 一般会計歳入予算の内訳および



## 各特別会計

### 経営的観点から見た 下水道事業の課題は

**問** 川崎市での中学生殺害事件を受け、地域全体での子どものサポートが大事ではないか。

**答** いじめ問題関係者連絡会議等に地域の方々にも参加いただいており、連携して子どもたちを見守る体制を強化したい。

### 下水道事業会計予算

**問** 下水道総合計画では平成四十五年までに事業費が総額約二百七十億円かかる見通しだが、経営的観点から踏まえ、今後どのような課題があると考えているか。

**答** 事業の実施等により市債残高が約百六十億円に達することが想定されており、市債抑制のため、基金の積み増しや事業費の削減等が必要と考えている。

**問** 介護保険制度の改正により、今後は原則、特別養護老人ホームの入所対象者が要介護三以上になるが、要介護一・二の方も一定の条件により入所できるか。

**答** 介護の必要度を数値化して入所の優先度の判定を行うのが、認知症が重い等の一定の事情がある場合には、要介護一・二の方でも特例入所の対象となる。

## 予算に対する各会派の討論

3月26日の本会議で予算に対する各会派の賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。各会派の構成は8面に掲載しております。

予算特別委員会の詳しい内容は、会議録またはインターネット議会中継でご覧いただけます。会議録は5月下旬以降、各市立図書館、コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー、または市議会ホームページにおいて閲覧することができます。

- ①平成27年度武蔵野市一般会計予算
- ②平成27年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算
- ③平成27年度武蔵野市介護保険事業会計予算
- ④平成27年度武蔵野市後期高齢者医療会計予算
- ⑤平成27年度武蔵野市下水道事業会計予算

### 市民の党

#### 地域リハビリテーションの 進展を見据えた予算、 しっかりと執行を



山本あつし議員

①②③④⑤⑥賛成

地域リハビリテーションは準備段階から本格的な段階に入ったことや、消費税の増による交

付金等により、待機児対策等への財源は十分あり、これらの予算執行をしっかり見守っていききたい。そして、地域包括ケアでは在宅でのみとりを視野に入れ、市民間でのコンセンサスを作ってもらいたい。公会堂の建て替えは文化行政の観点で行い、若者の支援は地域での連携が必要だ。また、環境エネルギー、教育、防災計画、財政援助出資団体等の各課題についてもしっかり見守っていききたい。

### 自由民主クラブ

#### 人口減少社会に向け、 健全な市政運営を



高野恒一郎議員

①②③④⑤⑥賛成

市民サービスの質を保ちつつ、人口減少社会へ備える難しい時代を迎える中で、行政・市民・

議会が十分に議論を重ね、それを基に市長が判断し、議会が議決するのが健全な市政運営であると考えているが、現在の施策の進め方や決定方法に疑問を感じる。一方で、指導補助員等の人材を配置し、教育環境の向上に努めている点を評価するが、委託業者の選定には慎重な判断を求める。今後、公共施設のより緊張感のある管理運営や、さらなる介護予防の取り組み等に期待し、賛成とする。

### 市議会公明党

#### 東京オリンピックの 機会を生かし、 勢いのある市政運営を



田辺あき子議員

①②③④⑤⑥賛成

東京2020オリンピック・パラリンピックという、またない機会を生かし、勢いある市政運営を

期待する。競技会場となる味の素スタジアムの玄関口として、武蔵野駅への観光案内所の設置や、南北一体の商業振興へ支援を求める。男女間の格差は正が実現できるよう、男女平等の根拠となる条例制定や人権窓口の創設を期待したい。10月に開始予定のプレミアム付き商品券の発行事業は、景気回復を図るため、開始時期の前倒しを希望する。本市の輝く未来に期待を込めて、賛成とする。

### むさしの無所属クラブ

#### 本予算の着実な執行による、 市政の発展および 市民生活の向上を



小美濃安弘議員

①②③④⑤⑥賛成

平成26年度中の課題に対し、本予算で一定程度解決に向けた取り組みが見られたことを評価

する。子宮がん検診における液状化細胞診検査の導入は三多摩初の取り組みであり、大いにPRし多くの受診につながることを望む。一方で市内病院の病床数確保については、本市の二次救急医療を守るため尽力を求める。ふるさと歴史館は多くの市民に来館していただけるよう創意工夫を要する。本予算を着実に執行し、市政の発展および市民生活の向上に結び付けていくことを求め賛成とする。

### 日本共産党武蔵野市議団

#### 自治体の役割を認識し 市民の暮らしを支える 予算の執行を



橋本しげき議員

①②④⑥賛成 ③⑤退席

消費税増税が強行され、社会保障の改正により市民の暮らしが厳しくなっている。暮らし

を支える自治体の役割を發揮することが極めて重要だと考える。今回は、市民の暮らしを支える予算であるかどうかを基準に審議に臨んだ。福祉都市宣言をしている市にふさわしく、さらなる社会保障の充実を求める。本予算が市民生活を支える市政の発展に寄与するものとして適切な執行を願う。国保税と介護保険料の値上げ条例に反対をしたので、当該2会計の採決の際は退席をする。

### 市議会市民クラブ

#### 新たな活力を生み出す 事業の展開を



桑津昇太郎議員

①②③④⑤⑥賛成

27年度予算は、市民の安全安心な生活を守り、持続可能な市政経営ができるかという点から審

査に臨んだ。市制施行から68年目を迎える本市では、少子高齢化の進行や都市基盤の再整備等、課題が山積している。次世代に向けての施策を見誤らず、新たな活力を生み出す事業の展開も必要と考えるが、今回の予算案からは、そのような強いメッセージが感じられない。着実かつ上向きに事業を執行し、多摩地区の自治体をリードするという意気込みを持って踏み出すことを願い、賛成とする。

### 民主生活者ネット

#### 市民目線での 施策展開を



川名ゆうじ議員

①②③④⑤⑥賛成

市税収入の増などにより、景気は好転しているかに思えるが、実感が薄く、先行きが不透明で

ある中で、本予算は弱者への視点が多く、一人一人を大切にできる姿勢が伺える点を評価する。一方で、事務事業評価の時期や方法については、早急な改善を求める。さらに、市の施策を市民へ伝える方法等にも課題があり、各事業を市民の目線で再考する必要があるが、各委員から提案された意見をしんしに受け止め、効果的・効率的に予算が執行されることを期待し、賛成とする。

# 一般質問

第1回定例会では2月27日、3月2日に11名の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、5月下旬発行予定の会議録(設置場所:各市立図書館、コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー)、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第1回定例会分は5月27日登録予定)、インターネット議会中継でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。

## 水辺を生かした吉祥寺駅南口周辺のまちづくりを



深沢達也議員

**問** 吉祥寺駅南口周辺のまちづくりについて、①吉祥寺グランドデザインにあるパーク吉祥寺のまちづくりの方針は②南口エリアは「水辺のまち」のコンセプトがふさわしいと考えるが、見解を伺う③まちづくりへの市民参加の方針について伺う。

**答** ①井の頭公園の緑と水辺空間は、吉祥寺のまちを特徴づける重要な要素であり、パーク吉祥寺エリアのまちづくりにも生かしていきたい②水辺のまちも非常に大切なコンセプトだが、水と緑を生かすまちづくりが必要と考える③駅前地区については、市が課題整理をした上で、さまざまな市民の声を聞くことが大原則であると考える。

## 待機児童ゼロをいつ、どのように実現するかを明確に



山本ひとみ議員

**問** 本市の年間出生数は大幅な増加傾向にあり、子どもの育ちを支える施策の拡充が求められている中、①保育園の入所基準が変更され、在園児ポイント(いわゆる兄弟ポイント)廃止に対する不満の声が多くあったが、入所申請した世帯等にアンケートを実施し、実情を検証すべきでは②待機児童ゼロをいつ、どのように実現する考えか。

**答** ①早期にわかりやすい周知を行い、さまざまな声を聞けるよう考えていきたい②来年に向けて解消を目指したい。また、確保すべきゼロ歳児枠が充足されていないため、小規模保育施設3か所の誘致を行い、早急に定員枠の確保を図っていきたい。

## 財政援助出資団体の整理統合について



高野恒一郎議員

**問** 財政援助出資団体に関する議論に対して、団体の自主性、市の方針、市民意見の3者の関係性が分かりにくいのが、①財援団体と市民意見とのかかわりはどうなっているのか②市長はもっとリーダーシップをとって議論を進めるべきと考えるが見解を伺う。

**答** ①各財政援助出資団体はアンケートで利用者の意見を聞き、市の各所管課や施設のモニタリング評価委員会に報告している。また、財援団体の統合について、長期計画調整計画の討議要綱に記載し市民と意見交換している②市は最終的なまとめをしなければならず、判断は市長が責任をもって行う。

## 少子化対策の視点を評価指標に



川名ゆうじ議員

**問** 市は、少子化対策の視点を入れた評価指標で、既存の施策等を再検証すべきでは。

**答** 「理想の人数より実際に育てられる人数が少ない」と答えた人の割合や「市の子育て環境や支援の満足度」などの評価指標を設定し、施策の改善を図っていきたい。

**問** 遺跡や文化財に含まれない武蔵野市特有の文化や市民活動を「武蔵野市民遺産」として残すなど、ふるさと歴史館の事業として検討してはどうか。

**答** ふるさと歴史館の運営方針に沿った内容、方法であれば、取り組むことはできると考える。このほか、小規模保育の保険についての質問がありました。

## 保育園入所予約制度の導入を



ひがしまり子議員

**問** 緊急待機児童対策として、産休明け等の職場復帰のための利用を想定した、保育園入所予約制度を導入すべきではないか。

**答** 時期は確定できないが、待機児童数等の状況を見ながら具体的な検討を進めたい。

**問** 認可外保育施設について、保育の質の向上を図るべきと考えるが、市の見解は。

**答** 認証保育所以外の多くの施設は地域型保育事業に今後移行予定だが、市の保育のガイドラインの対象に広げ、指導等したい。

**問** セカンドスクールによる自然体験教育について、今後さらに充実を図るべきでは。

**答** 現地の受け入れ態勢等の課題はあるが、自然体験活動の充実を図っていきたい。

## 認知症でも外出や地域参加ができるまちづくりの推進を



齊藤シンイチ議員

**問** 行政主導ではなく、住民主体の地域包括ケアシステムの検討が必要と考えるが、認知症でも外出や地域参加できるまちづくりの検討状況について伺う。

**答** 認知症見守り支援ヘルパーによる付き添い等の支援のほか、地域の見守り意識を醸成することにより、外出や地域参加しやすい環境整備を進めていきたい。

**問** 介護現場や高齢障害者の話を集めることで、本人の力を引き出すアイデアにつながり、介護の負担感が減らせるのでは。

**答** 介護の経験談から学ぶ機会を生み出すことや当事者の声を聞くことが、介護のイメージの共有につながるものと考えている。

## ふるさと納税に関する対応方針は



前田秀樹議員

**問** 本市へのふるさと納税の実績を伺う。

**答** 現在までで200万円だが、市外の方々が寄付しやすいよう、5月をめどに電子申請での寄付も行えるようにしたい。なお、この制度とは別に、多額の現金寄付がある。

**問** 本市の特産品を返礼品に組み込み、産業振興につなげてはどうか。

**答** 制度の趣旨を踏まえ、市としてどのような形がふさわしいか、今後検討したい。

**問** 市の特徴ある施策に賛同する人に対し、ふるさと納税を募ることも考えられるが、見解を伺う。

**答** 今後研究していきたい。このほか、障害者の成年後見人制度についての質問がありました。

## 武蔵境駅nonowa口の改札時間延長を



本間まさよ議員

**問** 武蔵境駅nonowa口の改札時間を午前6時から午後11時までと延長するよう、JRへの働きかけを求めるが、見解は。

**答** JR側は、基本的にnonowa口の改札時間をnonowa店舗の営業時間としているが、改札時間延長は利便性が増すことから、今後もJRに要望を伝えたい。

**問** nonowa口に切符対応の改札機の設置をJRへ要望してほしいが、いかがか。

**答** 現在、Suicaの使用率が9割以上であるため、JRでは切符対応を検討していないとのことである。

このほか、生活保護制度の見直しについての質問がありました。

### 武蔵野市議会ホームページ

<http://www.city.musashino.lg.jp/shigikai>

#### インターネット議会中継

本会議・決算特別委員会・予算特別委員会の模様を市議会ホームページで生中継しています(生中継の日程は「会議の日程」のページをご覧ください)。録画中継は、生中継終了後3日程度(土・日・休日を除く)で、ご覧いただけます。



#### 会議録検索システム

平成2年8月以降の本会議、常任・特別委員会など、各種の会議録が閲覧・検索できます。

#### 携帯電話版ホームページ

市議会からのお知らせを携帯電話でもご覧いただけます。下記のURLを直接入力するか、携帯電話でQRコード(2次元バーコード)を読み取ってください。

<http://www.city.musashino.lg.jp/m/>

その他、市議会に関するさまざまな情報を掲載しています。ぜひご利用ください。



### 手話通訳者等の派遣のご案内

市議会では、右記のとおり、本会議等を傍聴される際に、手話通訳または要約筆記を希望される方に手話通訳者等を派遣します。詳細は、市議会ホームページまたは直接お問い合わせください。

対象の会議	本会議、常任・特別委員会
申し込み方法	派遣希望日の14日前までに、所定の申請書にて、議会事務局の窓口、FAXまたはメールでお申し込みください。
問合せ	議会事務局(電話・FAX等は、8面下部参照)

### 子宮頸がん予防ワクチン副反応被害の救済策を求める



西園寺みきこ議員

- 問 地域リハビリテーションの理念に基づき、副反応被害者に支援を行うべきでは。
- 答 国の支援策が不十分なため、横浜市と同様の救済制度を市単独で4月に導入する。
- 問 ワクチン接種から数年後に副反応が現れる例もあるため、接種者全員を対象に調査が必要だと考えるが、見解を伺う。
- 答 調査と救済制度案内を行う予定である。
- 問 ごみ処理基本計画中間取りまとめの中に、「サーマルリサイクルの可能性について検討」と書かれている意図を伺う。
- 答 マテリアルリサイクルを大前提としつつ、ごみ焼却施設をエネルギー源として活用する動き等に注視すべきとの意図である。

### 新たな福祉コミュニティ構想を



内山さとこ議員

- 問 誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるコミュニティに向けて、①障害者総合条例②子どもの人権・子育て支援条例の制定が必要と考えるが、いかがか。
- 答 ①国の制度等の整備を踏まえて市の考え方をまとめ、あわせて地域自立支援協議会等での議論も参考にしつつ、今後自治基本条例を制定する中で、個別法として障害者の総合的な条例の制定を検討したい②総合的な子どもに関する施策事業を体系化した第四次子どもプランを策定するが、計画に対する総合的な支援が弱いと認識しているため、支援を後押しする総合的な子どもに関する条例の検討を進めたい。

### 介護と医療の連携で、高齢者が住みやすいまちづくりを



しばみのる議員

- 問 入院料や保険税の値上げ等に対し、国等へ市の意見をどのように伝えているのか。
- 答 全国市長会で提言、要望を行っている。市長会を通じ必要な要請、要望をしていく。
- 問 病床数削減の中、転院も難しく家族の負担となっているので、改善を図れないか。
- 答 医療機関と介護事業所をつなぐ組織を設置し、適切な医療が提供できるよう医師会と協議を進めていきたいと考えている。
- 問 高齢者の公営住宅入居が困難だが、民間住宅利用の際、何か市は支援できないか。
- 答 公営住宅の入居者募集回数が増などで効率化を図り、民間の住宅確保には不動産業者等の理解と協力が必要と認識している。

## 特別委員会最終報告

外環道路特別委員会は平成27年3月定例会最終日までを設置期限として、東京都市計画道路都市高速道路外環状線および外環状線の2について調査・検討を続けてきましたが、3月26日の本会議でこれまでの活動の報告を行いました。

### 外環道路特別委員会報告 (平成25年6月～平成27年3月)

#### 設置経過

昭和41年に発表された外環状道路建設計画に対して、本市では昭和42年に外環道路反対特別委員会を設置し、継続して反対運動を行ってきた。そして、平成15年3月、大深度地下方式での建設方針が公表され、同年9月、外環道路特別委員会が設置された。また、平成21年6月、外環の2についての調査・検討を追加した。今議会においても、平成23年6月、外環本線及び外環の2について調査・検討することを目的として本特別委員会が設置され、平成25年6月、設置期限が平成27年3月定例会最終日まで延長された。

#### 事業の状況と特別委員会の活動

外環本線は、平成26年3月、大深度法による使用認可を受け、同年4月3日本線シールド工事契約を締結し、平成27年2月6日、地中拡幅部の都市計画変更案が東京都都市計画審議会で可決され、同年3月6日都市計画変更案が決定し、告示された。外環の2は、平成26年11月28日、練馬区間の標準幅員を40メートルから22メートルに変更する都市計画変更案が都市計画決定した。

本特別委員会では、外環道路について調査・検討を重ね、現地視察、むさしの地区外環問題協議会、市民との懇談会を実施した。平成26年12月、外環計画に関する具体的な対策、情報の公開、外環の2の問題の解決等を求める「東京外かく環状道路に関する意見書」を委員全員により提出し、同月17日の本会議において全会一致で可決され、同月19日国・都へ提出した。

#### 今後について

外環本線については、正確な情報の開示とともに「対応の方針」および今後の事業の動向を注視し、外環の2については、話し合いの会を重ね、コミュニティの維持、良好な環境、安全面など市民に影響を及ぼす諸課題について、改選後の議会においても引き続き、事業の調査・検討を市民、行政と行っていく必要がある。



平成26年1月14日 中央環状川線避難施設視察

## 各常任委員会 行政視察報告

平成26年10月に、各常任委員会で下記のとおり行政視察を実施しました。各委員会視察報告については、市議会ホームページで、ご覧いただけます(1面下部参照)。

総務委員会		文教委員会	
日程	平成26年10月15日(水)～17日(金)	日程	平成26年10月22日(水)～10月24日(金)
視察先及び視察内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 北海道ニセコ町 ・ニセコ町まちづくり基本条例について</li> <li>② 北海道小樽市 ・小樽市総合計画について</li> <li>③ 北海道旭川市 ・まちなか活性化交流拠点創出事業について</li> </ul>  <p>ニセコ町 ニセコ町民センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 福岡県志免町 ・青少年の居場所「リリーフ」の運営について、子どもの権利相談室「スキッズ」の運営について</li> <li>② 佐賀県武雄市 ・CCCによる図書館運営について、官民一体型小学校創設の取り組みについて</li> <li>③ 福岡県久留米市 ・久留米市文化芸術振興基本計画の策定経過と効果について</li> </ul>  <p>志免町 青少年の居場所「リリーフ」</p>	
厚生委員会		建設委員会	
日程	平成26年10月22日(水)～10月24日(金)	日程	平成26年10月15日(水)～17日(金)
視察先及び視察内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 兵庫県明石市 ・明石市の発達支援の取り組みについて</li> <li>② 兵庫県神戸市 ・がん検診について、神戸市健康づくりセンターについて</li> <li>③ 兵庫県芦屋市 ・権利擁護支援センターについて、芦屋市地域発信型ネットワークについて</li> <li>④ 兵庫県西宮市 ・障害者相談支援事業について</li> </ul>  <p>明石市 児童発達支援センターあおぞら園・児童発達支援事業きらきら</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 滋賀県大津市 ・近江新八景ルール(市街地の高度利用のあり方の提言)について、緑地協定の取り組みについて</li> <li>② 京都府宇治市 ・緑地協定の取り組みについて、重要文化的景観のまちづくりについて</li> <li>③ 滋賀県草津市 ・草津市景観形成ガイドラインについて、緑地協定の取り組みについて</li> <li>④ 滋賀県彦根市 ・町並み景観再生のための住・商混合型の地区計画の策定について</li> </ul>  <p>彦根市 夢京橋キャッスルロード</p>	

議案等審議結果(議決)一覧

第1回臨時会

【市長提出議案(1件)】

- 平成26年度武蔵野市一般会計補正予算(第6回) 可決(全会一致)

第1回定例会

【市長提出議案(54件)】

- 武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について 同意(全会一致)
●武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の後藤敏夫氏を再任することについて、市議会の同意を求めるもの。
●武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について 同意(全会一致)
●本市固定資産評価審査委員会委員に堀田 正氏を再任することについて、市議会の同意を求めるもの。
●武蔵野市総合教育会議条例 可決(全会一致)
●地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、武蔵野市総合教育会議を設置するため、制定するもの。
●武蔵野市功労者表彰条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市職員定数条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●東京都公平委員会を共同して設置することに伴う武蔵野市公平委員会の廃止及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行を踏まえ、所要の改正をするもの。
●武蔵野市歴史公文書等の管理に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●公聴会参加者等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●上記3議案はいずれも、東京都公平委員会を共同して設置することに伴い、武蔵野市公平委員会が廃止されるため、所要の改正をするもの。
●武蔵野市個人情報保護条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市情報公開条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●職員団体の登録に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●上記4議案はいずれも、東京都公平委員会を共同して設置することに伴い、武蔵野市公平委員会が廃止されるほか、所要の改正をするもの。
●武蔵野市行政手続条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市教育委員会委員の報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●市長の退職手当に関する特例を定めるほか、所要の改正をするもの。
●武蔵野市教育委員会教育長の給与、旅費、勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●教育公務員特例法の改正を踏まえるとともに、教育長の給料の改定をするため、所要の改正をするもの。
●武蔵野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●一般職の職員の給与と制度の改正に伴うほか、所要の改正をするもの。
●武蔵野市市民生活総合基金条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市公共事業の施行に伴う融資に関する条例を廃止する条例の施行に伴うほか、所要の改正をするもの。
●武蔵野市鉄道連続立体交差整備基金条例を廃止する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市鉄道連続立体交差整備事業の終了に伴い、条例を廃止するもの。
●武蔵野市手数料徴収条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●建築基準法の一部を改正する法律の施行等を踏まえ、新たに手数料を設けるとともに、所要の改正をするもの。
●武蔵野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●利用者負担の額の改定及び市が特定地域型保育事業者として特定地域型保育を提供することに伴うほか、所要の改正をするもの。
●武蔵野市子育て支援0123条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●子ども子育て支援法の施行に伴い、地域子ども子育て支援事業に関する業務を実施するほか、所要の改正をするもの。
●武蔵野市軽費老人ホーム条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市くぬぎ園の廃止に伴うほか、所要の改正をするもの。
●武蔵野市介護保険条例の一部を改正する条例 可決(賛成多数)
●武蔵野市介護認定審査会条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●認定申請者数の増加への対応及び審査会出席に伴う委員の負担軽減を図るため、所要の改正をするもの。
●武蔵野市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例 可決(全会一致)
●武蔵野市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例 可決(全会一致)
●上記2議案はいずれも、介護保険法の改正に伴い、基準を定める必要があるため制定するもの。
●武蔵野市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市中小規模事業者事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●融資あっせんの対象となる中小規模事業者の資本金その他の要件を拡大するもの、所要の改正をするもの。
●武蔵野市中小企業勤労者等福利厚生資金融資条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●日本労働者信用基金協会の一般社団法人化に伴うほか、所要の改正をするもの。
●武蔵野市有料自転車駐車場条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市武蔵境駅北口暫定自転車駐車場の廃止に伴い、所要の改正をするもの。
●武蔵野市下水道条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●下水道法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、公共下水道に排除する下水の水質基準を改めるもの。
●武蔵野市建築審査会条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市災害甲斐金等の支給等に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●武蔵野市災害見舞金等支給条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●物損事故に係る損害賠償の額の確定及び和解について 可決(全会一致)
●雨水貯留施設設置業務委託契約の変更について 可決(全会一致)
●委託費の精算を行った結果、委託金額の変更(14億8,570万円から11億8,920万1,270円)を行うもの。
●平成26年度武蔵野市一般会計補正予算(第7回) 可決(全会一致)
●平成26年度武蔵野市下水道事業会計補正予算(第1回) 可決(全会一致)
●平成26年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算(第3回) 可決(全会一致)
●平成26年度武蔵野市後期高齢者医療会計補正予算(第1回) 可決(全会一致)
●平成26年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第2回) 可決(全会一致)
●平成26年度武蔵野市水道事業会計補正予算(第1回) 可決(全会一致)
●平成27年度武蔵野市一般会計予算 可決(全会一致)
●平成27年度武蔵野市下水道事業会計予算 可決(全会一致)
●平成27年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算 可決(全会一致)
●平成27年度武蔵野市後期高齢者医療会計予算 可決(全会一致)
●平成27年度武蔵野市介護保険事業会計予算 可決(全会一致)
●平成27年度武蔵野市水道事業会計予算 可決(全会一致)
●平成26年度武蔵野市一般会計補正予算(第8回) 可決(賛成多数)
●武蔵野市教育委員会教育長の任命の同意について 同意(全会一致)
●武蔵野市教育委員会委員の任命の同意について 同意(全会一致)
●本市教育委員会委員に渡邊一衛氏を任命することについて、市議会の同意を求めるもの。
●平成26年度武蔵野市一般会計補正予算(第9回) 可決(全会一致)

【諮問(1件)】

- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 異議なし(全会一致)
●人権擁護委員、藤井範弘氏の任期満了に伴い、再度候補者として推薦することについて市議会の意見を求めるもの。

【議員提出議案(6件)】

- 川内原発を初めとする原発の再稼働を行わず廃炉とし、原発ゼロ政策への転換を求める意見書 可決(賛成多数)
●建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書 可決(全会一致)
●きくち太郎議員に猛省を求める決議 可決(全会一致)
●武蔵野市議会委員会条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
●子宮頸がん予防ワクチンの副反応被害救済に関する意見書 可決(全会一致)
●戦後70年の節目に自治体から平和を求める意見書 否決(議長裁決)
[可否同数のため、地方自治法第116条第1項の規定から議長裁決により否決となりました]
各議員の議案等に対する賛否結果については、市議会ホームページに掲載しています。

政府等への意見書

川内原発を初めとする原発の再稼働を行わず廃炉とし、原発ゼロ政策への転換を求める意見書

東京電力福島第二原発の事故発生から約四年近くになりますが、いまだに事故収束に至らず、原因の究明もされていません。そのような状況のもと、原子力規制委員会は九州電力川内原発が新規規制基準に適合していることを確認し、その設置変更を許可しました。今後、工事計画などの審査が進められる予定です。しかし、平成二十六年五月二十一日の大飯原発の運転差止め裁判での福井地裁判決では、生活に影響を受ける範囲を原発から二百五十キロメートル圏内とし、その範囲の住民の人格権を保障することなく、原発を運転することは許されないと、大きな自然災害や戦争以外で生命を守り生活を維持する権利が極めて広範に奪われる可能性があるのは原発事故のほか想定できないこと、豊かな国土とそこに国民が根を下ろして生活していることが国富であり、これを取り戻すことができなくなることが国富の喪失であることなどが記されました。

この判決文の内容からも、原発事故から広範な住民への影響を回避することは政府の責任であり、川内原発を初めとする原発の再稼働に反対し廃炉を求めるとともに、原発をベース電源としたエネルギー政策を転換して、再生可能エネルギーの普及促進、電力事業の自由化

送配電の仕組みの見直しなどの政策化を図り、早急にその実行に取り組みむことを求めます。よって、武蔵野市議会は、貴職に対し、下記事項について要望します。

- 一、東京電力福島第二原発事故の原因の究明もなされていない状況で、川内原発を初め現在停止中の原発の再稼働を行わず、廃炉とすること。
二、原発をベース電源としたエネルギー政策を転換し、できる限り早期の原発ゼロを政策目標として、その実行のため再生可能エネルギーの普及促進、電力事業の自由化、送配電の仕組みの見直しなどの政策化を図り、早急にその実行に取り組むこと。
(衆議院参議院議長、内閣総理、総務・経済産業、環境大臣あて)

建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書

アスベスト(石綿)を大量に使用したことによるアスベスト被害は多くの労働者、国民に広がっている。現在でも、建物の改修、解体に伴うアスベストの飛散は発生しており、労働者や住民に被害が広がっている大きな公害問題である。東日本大震災で発生した大量の瓦れき処理についても被害の拡大が心配されている。欧米諸国では、製造業の従事者に多くの被害者が出ているのに対して、日本では、建設業従事者に最大の被害者が生まれていることが特徴である。それは、アスベストのほとんどが建設資材として建設現場で使用され、そして国が建築基準法等で不燃化、耐火工法としてアスベストの使用を進めたことにも大きな原因がある。

にも数多くの困難が伴い、多くの製造業で支給されている企業独自の乗せ補償もない。国は石綿による健康被害の救済に関する法律を成立させたが、まだ不十分なので、成立後、貫して抜本改正が求められている。アスベストを原因とする疾患に苦しむ患者は自ら何の落ち度もないのに、絶望的な痛みと苦しみの中で命を落とす、残された家族の悲しみは底なしの深さと言えらる。今後、東日本大震災の復興事業や国土強靱化基本計画、オリンピック開催を進める上で発生する建築物の解体が行われ、かつてない規模のアスベスト除去工事が行われる。よって、武蔵野市議会は、貴職に対し、下記事項を実現するよう、強く要望する。

- 一、建設アスベスト被害者と遺族が生活できる救済の実施とアスベスト被害の拡大を根絶する対策を直ちにすること。
二、アスベスト問題の早期解決を図ること。
(衆議院参議院議長、内閣総理、総務・厚生労働大臣あて)

子宮頸がん予防ワクチンの副反応被害救済に関する意見書

子宮頸がんの予防を目的としたヒトパピローウイルス感染症の予防ワクチン接種事業では、全国で二千人を超える深刻な健康被害が報告されています。副反応は四肢の痛み、けいれん、歩行困難など、整形外科的の症状、生理不順など婦人科的の症状、記憶障害や激しい頭痛など脳神経外科的の症状など、多岐にわたっており、日常生活に大きな支障を来しています。しかし、副反応の治療法はまだまだ確立されておらず、被害者は複数の医療機関を転々としながら自力で治療法を模索しているのが現状です。

武蔵野市においては、平成二十七年一月に市内在住の十代の女性が被害者となった報告があり、平成二十七年四月から市独自の救済策を実施するための検討を進めています。しかし、予防接種事業は国の施策であり、本来救済策についても国が責任を持って取り組むべきものです。よって、武蔵野市議会は、国会及び政府に対し、被害者救済が適切に進むよう、以下の事項を強く要望します。

- 一、子宮頸がん予防ワクチンの接種と副反応被害について、その因果関係を解明し、治療法の確立に向けた取り組みを一層推進すること。
二、被害者救済については、既存の制度を積極的に活用するとともに、子宮頸がん予防ワクチン副反応被害の多岐にわたる症状に鑑み、現状に適した独自の救済制度を創設すること。
(衆議院参議院議長、内閣総理、総務・厚生労働大臣あて)

きくち太郎議員に猛省を求める決議

去る二月九日に行われた武蔵野市第五期長期計画調整計画策定委員会委員との全員協議会の場で、きくち太郎議員から市議会として看過できない発言があった。その発言は天災や戦火など幾多の試練を乗り越え、今日の社会を築いてきた高齢者の方々に対して極めて非礼であるばかりか、日本国憲法の定める基本的人権の尊重にも反するものである。

武蔵野市議会では、昨年九月、地方議会における人権侵害及び差別発言を許さないことに関する決議を全会一致で可決し、議会としてあらゆる人権侵害、差別を許さないと誓ったばかりである。このたびの発言は、全員協議会という公式な議会の場で発言であり、本市議会の議員として断じて許されるものではない。よって、きくち太郎議員に対して猛省を求めるとともに、我々は議会人として自らの言動に責任を持つことをここに確認する。

川内原発を初めとする原発再稼働に反対し廃炉とし、原発ゼロ政策への転換に向けた意見書の提出に関する陳情(※)
建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求めることに関する陳情(※)
意見付き採択
平成二十七年四月からの学童クラブの時間延長制度導入に関する陳情(意見)
平成二十七年四月実施は困難だが、趣旨に沿うよう努力されたい。(※)は継続審査となっていたものです。

陳情 審議結果

きくち太郎議員に猛省を求める決議
去る二月九日に行われた武蔵野市第五期長期計画調整計画策定委員会委員との全員協議会の場で、きくち太郎議員から市議会として看過できない発言があった。その発言は天災や戦火など幾多の試練を乗り越え、今日の社会を築いてきた高齢者の方々に対して極めて非礼であるばかりか、日本国憲法の定める基本的人権の尊重にも反するものである。

全員協議会

左記のとおり、全員協議会が開催されました。
武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について
(平成二十七年二月九日)

会派名簿
会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の一つの基盤となります。この会派名簿は、平成27年4月30日任期満了のものです。
●氏名は議席番号順です。議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。